

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

アジア経済概況（2006 年 8 月）

【目次】

．中華圏・韓国

- 1．中国経済の概況・・・4～6月期のGDP成長率は11.3%に加速 ... p.1
- 2．中国の主要指標解説：
 原材料高と賃金上昇で中国製品の価格が上昇 ... p.3
- 3．台湾経済の概況・・・輸出主導の景気回復が続く ... p.4
- 4．韓国経済の概況・・・4～6月期の成長率は建設不振でやや鈍化 ... p.5

．ASEAN・インド

- 1．タイ経済の概況・・・輸出堅調から緩やかな景気回復が続く ... p.6
- 2．インドネシア経済の概況・・・物価安定化の兆しを受け再利下げ ... p.7
- 3．マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標 ... p.8
- 4．インド経済の概況・・・内外需の堅調を背景に景気の拡大続く ... p.9
- 5．ASEAN経済の注目点：
 ASEAN・中国自由貿易協定開始から1年 ... p.10

- ．アジア通貨・株価動向 ... p.11



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

調査部

【お問い合わせ先】海外経済班

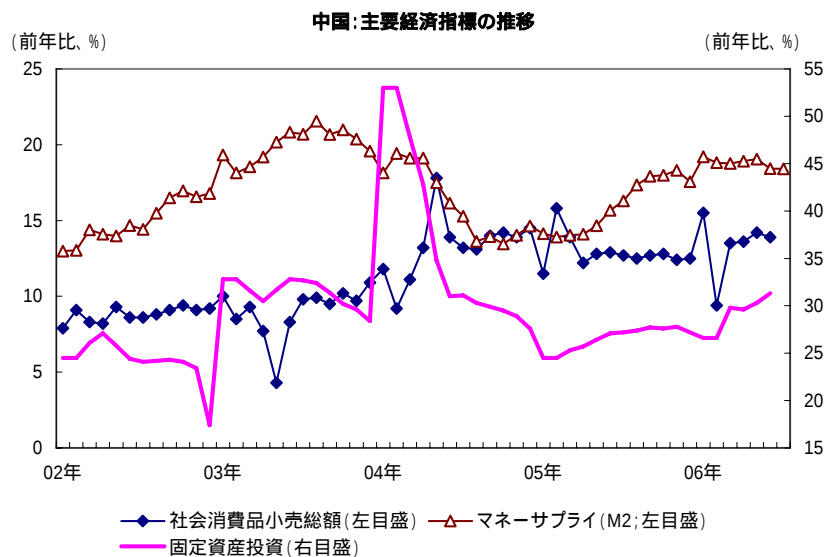
野田（E-Mail：mariko.noda@murc.jp）

本レポートに掲載された意見・予測等は資料作成時点の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。

．中華圏・韓国

1 ．中国経済の概況

- ・ 投資・輸出主導の景気拡大が続いている。7月18日に発表された4～6月期の実質GDP成長率は前年同期比11.3%と前期（同10.3%）から一段と加速。景気過熱への警戒からGDP統計発表の3日後の7月21日、中国人民銀行（中央銀行）は預金準備率の0.5%pt引き上げ（8%→8.5%；8月15日実施）を決めた。これは6月16日発表の預金準備率引き上げ（0.5%pt、7.5%→8%；7月5日実施）に続く2度目の準備率引き上げであり、4月28日実施の貸出基準金利引き上げ（0.27%）以来、矢継ぎ早に金融引締め措置が講じられている。
- ・ 実際、固定資産投資（都市部）は1～6月期が前年同期比31.3%増と1～3月期の同29.8%増からさらに伸びが高まっている。内訳を見ると、昨年後半には同20%以下にまで鈍化していた不動産投資が今年1～6月期には同31.4%増と大幅に拡大。一部の都市で不動産価格の高騰が見られるなどバブル再燃も懸念されている。ただし、固定資産投資の地域別動向をみると、金額ベースでは依然として5割強が沿海部東部省市での投資に占められているものの、伸び率では、吉林省などを含む中部、あるいは西部地域が前年比3割から4割増と高い伸びとなっている。東北振興あるいは西部開発の推進が投資拡大の一因となっていることがうかがえる。
- ・ また、輸出の好調を背景に貿易黒字の拡大が続いており、6月末の外貨準備高は9,411億ドルとなった（7月の貿易黒字は6月を上回る146億ドルに拡大）。
- ・ 一方、消費者物価は食品価格が相対的に安定していることから景気の拡大持続にもかかわらず、4～6月期も前年同期比1.4%と安定圏内にとどまっている。



(注) 固定資産は年初からの累計の前年比、04年以降は都市部・投資額50万元以上のみ。
 (出所) CEIC 他

【中国・香港の主要経済指標】

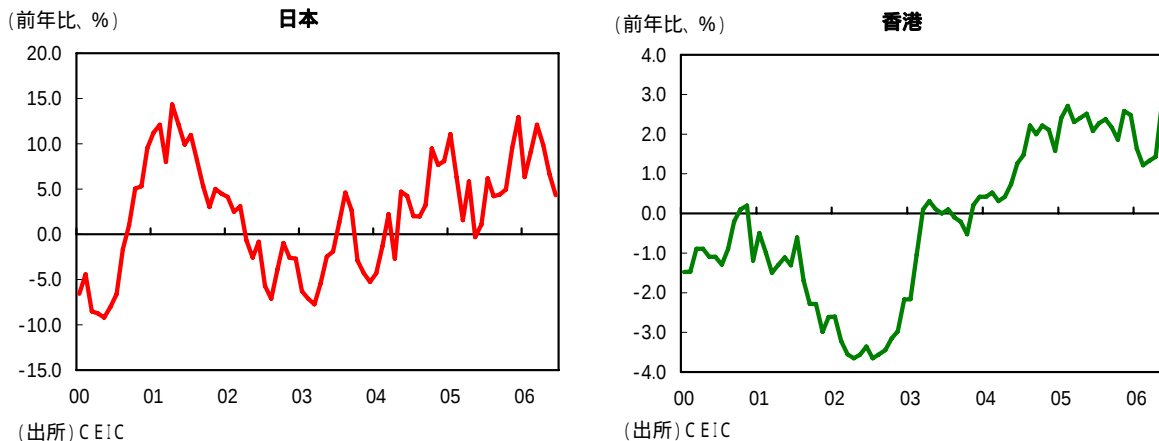
			2003年	2004年	2005年	05/3Q	05/4Q	06/1Q	06/2Q	06/4月	06/5月	06/6月	06/7月
中国	GDP	実質GDP成長率 (累計ベース)	前年比%			9.8	9.9	10.3	11.3				
		名目GDP成長率 (累計ベース)	前年比%	10.0	10.1	9.9	9.9	10.3	10.9				
				12.9	17.7	14.0	14.1	14.0	14.3				
	消費	社会消費品小売総額	前年比%	9.0	13.3	12.9	12.6	12.6	12.8	13.9	13.6	14.2	13.9
		うち市	前年比%	14.9	20.6	18.4	13.6	13.3	13.5	14.6	14.1	15.0	14.7
		うち県	前年比%	12.7	18.6	15.9	10.6	12.3	11.5	13.8	13.6	14.1	13.7
		うち県以下	前年比%	9.2	12.8	15.2	10.6	10.5	11.6	11.8	12.0	11.8	11.6
		自動車販売台数	前年比%	33.5	16.9	13.8	15.5	20.8	36.7	18.3	25.4	21.7	7.8
		うち乗用車	前年比%	71.5	19.3	21.5	32.0	35.8	66.6	32.6	48.9	34.3	16.2
		消費者自信指数	期中平均	93.1	92.9	94.2	94.4	93.9	94.1	93.9	93.8	93.8	94.1
		消費者期待指数	期中平均	92.4	91.7	95.1	95.3	95.4	96.1	96.5	96.4	96.3	96.8
	投資	固定資産投資 (都市部・50万円以上; 累計ベース)	前年比%	28.4	27.6	27.2	27.7	27.2	29.8	31.3	29.6	30.3	31.3
		うち不動産・居住用建物	前年比%	29.7	25.3	19.6	19.5	19.6	26.3	31.4	28.5	28.6	31.4
		うち国内企業	前年比%				28.4	28.5	31.2	32.4	31.2	31.6	32.4
		うち製造業	前年比%				36.1	38.6	36.3	38.6	37.6	37.1	38.6
		うち鉄鋼	前年比%				23.4	27.5	▲ 2.2	2.3	7.9	8.5	2.3
		うち輸送機械	前年比%				47.7	51.1	43.8	44.5	52.3	45.9	44.5
		うち電気機械	前年比%				51.5	44.9	69.5	68.2	76.0	71.5	68.2
		うち情報通信機器	前年比%				19.1	18.2	33.7	38.7	36.5	35.8	38.7
		直接投資契約額 (累計ベース)	前年比%	39.0	33.4	23.2	21.8	23.2	n.a.	2.7	n.a.	n.a.	2.7
		直接投資実行額 (累計ベース)	前年比%	1.4	13.3	19.4	▲ 2.1	19.4	6.4	▲ 0.5	5.8	2.8	▲ 0.5
		不動産景気指数	期中平均	107.1	105.8	101.9	101.7	100.8	101.1	102.1	101.6	101.9	102.9
	貿易 及び 外貨 準備	貿易収支	10億ドル	25.4	32.8	102.1	28.7	33.6	23.1	38.0	10.5	13.0	14.5
		輸出 (ドルベース)	前年比%	34.6	35.4	28.4	29.1	21.7	26.5	24.0	23.8	25.1	23.3
		輸入 (ドルベース)	前年比%	39.9	35.8	17.7	19.6	22.1	24.9	18.5	15.5	21.6	18.7
		対米貿易収支	10億ドル	58.6	80.3	114.2	32.1	33.0	28.6	33.7	10.7	10.9	12.1
		対日貿易収支	10億ドル	▲ 14.8	▲ 20.7	▲ 16.4	▲ 5.1	▲ 5.4	▲ 4.0	▲ 5.8	▲ 1.9	▲ 1.3	▲ 2.6
		外貨準備	期末10億ドル	403.3	609.9	818.9	769.0	818.9	875.1	941.1	895.0	925.0	941.1
	生産	鉱工業付加価値額	前年比%	16.7	16.3	15.9	16.2	16.4	15.9	18.0	16.6	17.9	19.5
		うち国有企業	前年比%	14.1	13.7	10.7	11.2	9.6	8.8	13.3	10.8	13.6	15.4
		うち株式企業	前年比%	18.0	16.6	17.3	17.7	16.9	16.3	19.3	17.2	19.4	21.3
		うち外商・港台企業	前年比%	19.6	18.5	15.8	16.7	17.6	18.5	18.5	18.6	17.9	19.0
		在庫額	前年比%	10.1	20.2	21.0	21.5	21.0	20.9	8.3	18.1	16.6	16.4
		うち鉱物	前年比%	▲ 2.8	20.8	42.4	40.6	45.0	43.7	22.9	39.1	47.4	44.0
		うち素材	前年比%	8.6	25.4	27.1	29.2	27.8	22.9	9.2	19.0	16.1	16.2
		うち機械	前年比%	17.9	19.5	16.7	16.2	15.5	16.1	5.6	14.9	13.3	13.5
		発電量	前年比%	14.2	15.0	13.4	13.6	11.8	13.4	13.2	11.9	13.0	14.7
	所得 雇用	都市一人当たり所得	前年比%	12.0	11.8	11.8	12.4	10.8	12.4	11.2	11.2	11.7	10.6
		鉱工業雇用者数	前年比%	11.9	7.2	8.8	10.3	10.6	10.1	5.0	8.2	8.2	7.9
		労働力市場求人倍率	期末	0.88	0.94	0.96	0.97	0.96	0.96				
		製造業/全産業求人比率	期末%	31.6	31.9	30.8	32.0	30.8	36.6				
	物価	消費者物価指数	前年比%	1.2	3.9	1.8	1.3	1.4	1.2	1.4	1.2	1.4	1.5
		うち食品	前年比%	3.4	10.0	2.9	1.2	1.7	1.9	1.9	1.8	1.9	2.1
		うち家庭設備・家庭用品	前年比%	▲ 2.6	▲ 1.4	▲ 0.1	0.2	0.5	0.6	0.9	0.7	0.8	1.2
		生産者物価指数	前年比%	2.3	6.1	4.9	5.0	3.5	2.9	2.6	1.9	2.4	3.5
	金融	マネーサプライ (M2)	前年比%	19.6	14.9	17.6	17.2	18.0	18.9	18.8	18.9	19.1	18.4
		インターバンク金利 (翌日物)	期中平均%	2.17	2.11	1.43	1.21	1.36	1.46	1.60	1.64	1.46	1.69
		株価指数 (上海総合)	期末	1,497	1,267	1,161	1,156	1,161	1,298	1,672	1,440	1,641	1,672
		為替レート (元/ドル)	期中平均	8.28	8.28	8.19	8.14	8.08	8.05	8.01	8.01	8.01	8.00
		為替レート (円/元)	期中平均	14.0	13.1	13.4	13.7	14.5	14.5	14.3	14.6	13.9	14.3
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	3.2	8.6	7.3	8.2	7.5	8.2				
		うち民間消費	前年比%	▲ 0.9	7.3	3.4	3.6	3.4	4.5				
		うち固定資本形成	前年比%	0.9	3.0	4.1	2.8	8.4	8.5				
		名目GDP成長率	前年比%	▲ 3.4	4.7	7.0	8.4	8.2	7.8				
	消費	小売販売数量指数	前年比%	▲ 0.6	9.1	5.9	5.1	4.4	4.6		7.9	2.0	
		不動産価格指数	前年比%	▲ 12.0	26.7	18.0	20.3	8.1	1.8	▲ 2.1	▲ 2.2	▲ 2.0	▲ 2.0
		うち家屋160㎡超 (香港島)	前年比%	▲ 0.2	44.9	21.5	20.7	7.1	15.5	▲ 8.5	▲ 16.6	▲ 4.8	▲ 3.5
	不動産	不動産販売取引件数 (香港域内)	前年比%	▲ 2.8	40.6	2.7	9.4	▲ 31.7	▲ 28.7	▲ 41.6	▲ 51.5	▲ 37.3	▲ 33.5
	貿易	貿易収支	10億HKドル	▲ 66.5	▲ 93.7	▲ 81.4	▲ 11.3	▲ 17.4	▲ 36.9	▲ 42.8	▲ 14.5	▲ 14.6	▲ 13.8
		輸出 (香港ドルベース)	前年比%	11.6	15.8	11.4	12.5	10.0	12.2	5.2	9.4	▲ 0.1	6.7
		輸入 (香港ドルベース)	前年比%	11.6	16.8	10.3	11.5	11.3	13.7	7.8	11.2	2.5	9.9
	物価	消費者物価指数	前年比%	▲ 2.6	▲ 0.4	1.1	1.4	1.8	2.0	2.7	2.4	2.9	2.8
	金融	マネーサプライ (M3)	期末%	8.3	8.6	5.2	8.2	5.2	8.6	11.3	10.8	17.7	11.3
		ハンセン指数	期末%	12,576	14,230	14,876	15,429	14,876	15,805	16,268	16,661	15,858	16,268

(出所) CEIC 他 (注) 不動産景気指数は05年より基準が改訂され、それ以前とは不連続。

2. 中国の主要指標解説：原材料高と賃金上昇で中国製品の価格が上昇

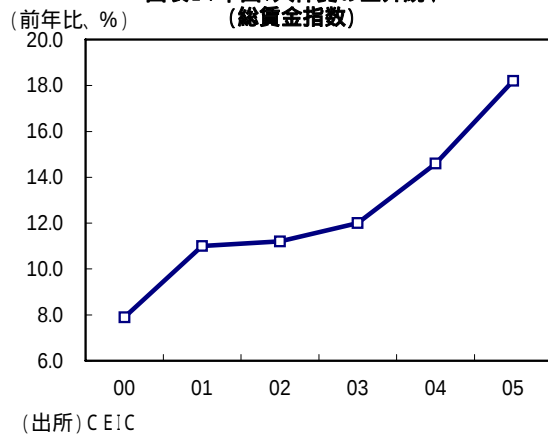
- ・「世界の工場」と言われる中国で生産される相対的に安価な製品。中国からの輸出攻勢は各国で厳しい価格競争を巻き起こし、結果として物価安定に寄与していたと見られる。しかし、日本や香港の対中輸入単価の推移を見ると、04年以降、上昇傾向が続いている（図表1）。

図表1. 中国からの輸入品価格の上昇が続く～対中輸入単価の推移

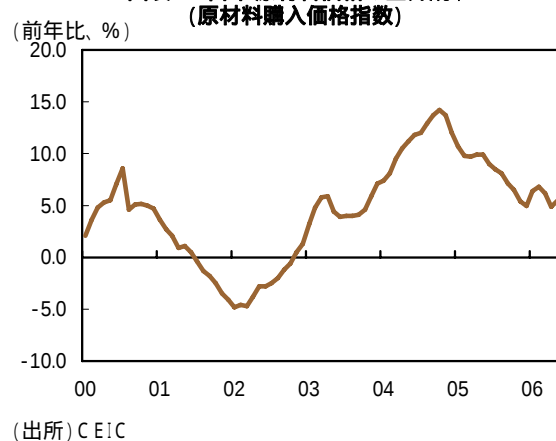


- ・これは中国製品の高付加価値化のほか、中国での人件費の上昇傾向や世界的な一次産品価格の上昇を反映した原材料価格の上昇により中国製品の価格が徐々に上昇しているためと考えられる（図表2、3）。
- ・今後、これに一段の人民元高の影響が加われば、さらに中国製品の価格が上昇することが見込まれる。中国製品の値上がりは世界的なインフレ傾向の一因となっている可能性がある。

図表2. 中国：人件費の上昇続く
(総賃金指数)



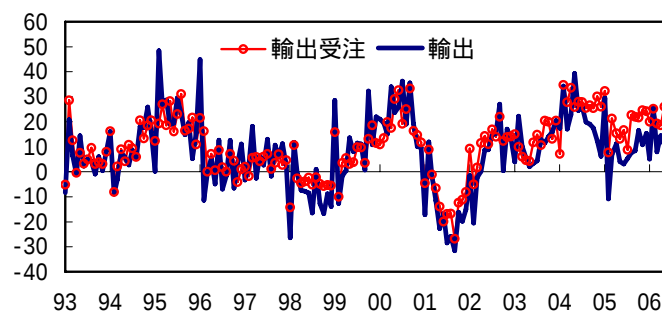
図表3. 中国：原材料価格の上昇続く
(原材料購入価格指数)



3. 台湾経済の概況

- ・ 輸出主導の景気回復が続いている。7月の輸出は半導体など電子製品を中心に前年同月比 20.6%増となった。米国と中国という二大マーケットの需要が依然として比較的堅調であったことが主因だが、夏場以降は原油価格高騰による米国消費者の購買力低下、引締め政策による中国景気の減速などにより台湾の輸出も鈍化すると見る向きもある。また、マイクロソフト社が Windows の後継 OS となる Vista の導入を延期したことからパソコンの買い控えが起こっていることも台湾の輸出にとってはマイナス材料と見られている。
- ・ 行政院経済建設委員会発表の6月の景気対策信号は前月（24 ポイント）から3ポイント減の21ポイントと「景気後退注意」を示す「黄青」に低下した。これは株価の下落、マネーサプライ（M1B）の伸び率鈍化などの金融指標の悪化に加えて、製造業の新規受注の前年比伸び率が鈍化したためである。外需は堅調なもの、内需はやや軟調とみられる。

(前年比、%) 台湾:輸出は依然として堅調



(出所)CEIC

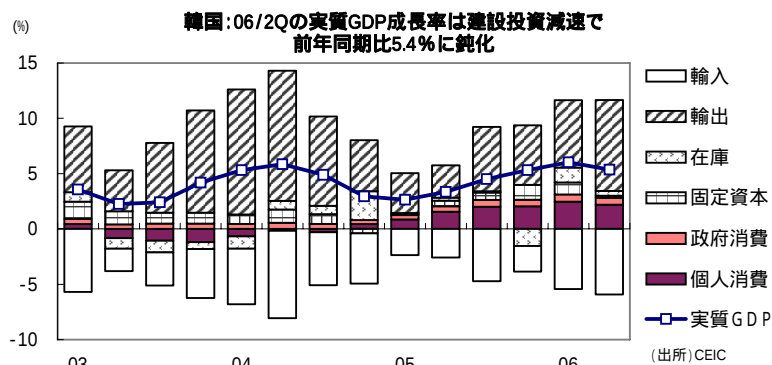
台湾の主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/3Q	4Q	06/1Q	2Q	06/4月	06/5月	06/6月	06/7月
GDP (yoy)	実質 GDP	3.4	6.1	4.1	4.4	6.4	4.9					
	うち民間消費	0.9	3.9	3.0	3.7	2.8	2.1					
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	▲ 0.9	17.5	0.5	0.3	▲ 11.8	▲ 4.0					
		▲ 0.3	31.0	▲ 1.3	▲ 2.0	▲ 18.0	▲ 3.9					
生産	鉱工業生産(yoy)	7.1	9.8	4.1	4.8	9.1	8.3	6.7	6.1	8.6	5.5	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	16.9	6.1	7.8	1.5	5.9	1.4	2.0	1.6	▲ 0.1	0.5	1.0
	輸出(yoy)	10.4	20.7	8.8	7.1	14.2	11.8	13.7	14.4	10.7	16.2	20.6
	輸出受注(yoy)	12.6	26.5	19.2	17.8	23.4	21.2	21.6	18.6	26.0	20.6	
	輸入(yoy)	13.1	31.9	8.2	9.8	0.9	9.3	9.8	5.0	12.3	12.0	17.2
	経常収支(10億ドル)	29.3	18.5	16.1	0.9	9.1	6.4					
	外貨準備高(10億ドル)	207	242	253	254	253	257	260	259	261	260	260
雇用	失業率(季節調整済み)	5.0	4.4	4.1	4.1	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	
物価 金融	消費者物価(yoy)	▲ 0.3	1.6	2.3	3.0	2.5	1.3	1.5	1.2	1.6	1.7	0.8
	マネーサプライ(M2,yoy)	5.8	7.4	6.5	6.4	6.5	6.1	5.6	6.9	7.1	5.6	
	株価指数(加権指数)	5,891	6,140	6,548	6,119	6,548	6,614	6,704	7,172	6,847	6,704	6,455
	短期金利(オーバーナイト)	1.12	1.04	1.30	1.34	1.39	1.45	1.52	1.52	1.52	1.53	1.59
	為替レート(NTドル/ドル)	34.4	33.4	32.2	32.3	33.5	32.3	32.2	32.3	31.8	32.5	32.6
	為替レート(円/NTドル)	3.37	3.24	3.42	3.44	3.50	3.62	3.56	3.62	3.52	3.53	3.55

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算しない旧ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・ 輸出の堅調を背景に緩やかな景気回復が続いている。4～6月期の実質 GDP 成長率（速報値）は前年同期比 5.4%と前期（同 6.0%）から減速したが、これは政府の不動産投資抑制策により建設投資が落ち込んだことが主因である。輸出、設備投資は堅調を維持しており、個人消費も底堅く推移している。
- ・ 4～6月期の輸出は前年同期比 17.1%増と前期（同 10.6%）に比べて大幅に拡大した。ただし、原油高から輸入の大幅な伸びが続き、財の貿易黒字幅が縮小していることに加えて、海外旅行者の増加などによるサービス収支の赤字幅拡大により、1～6月期の経常収支は 97 年 1～6 月期以来 9 年ぶりの赤字となった。この傾向は当面続くと見られている。
- ・ 一方、集中豪雨の影響で 7 月中旬以降、野菜など農産品価格が高騰しており、物価の先行きがやや懸念される状況にある中、韓國中銀は 8 月 10 日、政策金利を 0.25%ポイント引き上げて 4.5%とすることを決めた。



韓国の主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/3Q	4Q	06/1Q	2Q	06/4月	06/5月	06/6月	06/7月
GDP (yoy)	実質 GDP	3.1	4.7	4.0	4.5	5.3	6.0	5.4				
	うち民間消費支出	▲ 1.2	▲ 0.3	3.2	4.0	4.1	4.9	4.4				
	うち固定資本形成	4.0	2.1	2.3	2.3	4.7	3.8	0.7				
	うち設備	▲ 1.2	3.8	5.1	4.6	10.0	7.1	7.5				
生産	鉱工業生産 (yoy)	5.3	10.2	6.2	7.2	10.4	12.1	11.0	9.9	12.1	10.9	
消費	小売売上高 (数量, yoy)	▲ 1.8	▲ 0.7	3.6	3.3	6.0	3.5	5.0	4.4	4.9	5.6	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支 (10億ドル)	15.0	29.4	23.2	4.9	6.1	1.8	5.3	1.2	1.9	2.2	0.7
	輸出 (yoy)	19.3	31.0	12.0	15.4	11.4	10.6	17.1	11.7	20.8	18.6	12.4
	輸入 (yoy)	17.6	25.5	16.4	21.1	14.6	19.0	19.8	14.4	23.1	21.9	18.4
	経常収支 (10億ドル)	11.9	28.2	16.6	2.6	5.4	▲ 1.1	0.9	▲ 1.6	1.4	1.1	
	外貨準備高 (10億ドル)	155	199	210	207	210	217	224	223	225	224	226
雇用	失業率 (季節調整済み)	3.4	3.5	3.5	3.4	3.3	3.7	3.2	3.3	3.0	3.2	3.2
物価	消費者物価 (yoy)	3.5	3.6	2.8	2.4	2.5	2.4	2.3	2.0	2.4	2.6	2.3
金融	マネーサプライ (M2, yoy)	3.0	5.9	7.0	6.5	7.0	6.6	7.7	6.8	7.1	7.7	
	株価指数 (総合)	811	896	1,379	1,221	1,379	1,360	1,295	1,420	1,318	1,295	1,298
	為替レート (ウォン/ドル)	1,192	1,140	1,023	1,032	1,031	972	951	946	947	960	953
	為替レート (円/100ウォン)	9.6	9.5	10.8	10.9	11.4	12.1	12.0	12.1	11.9	12.1	12.0
	C/Dレート (3ヵ月物)	4.31	3.79	3.65	3.57	3.98	4.22	4.39	4.33	4.36	4.47	4.63

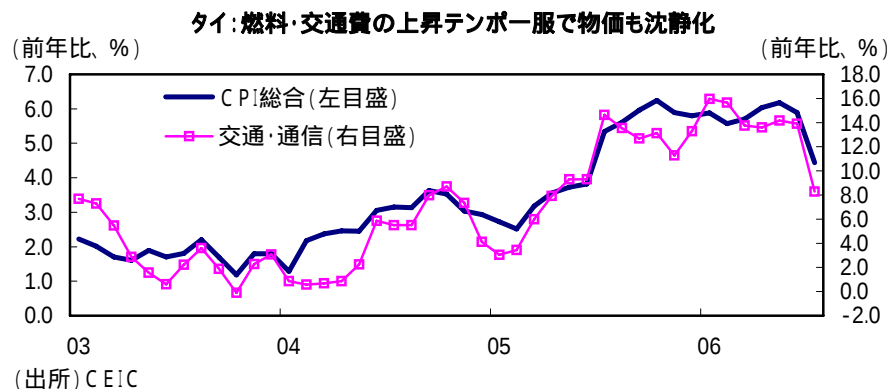
(出所) CEIC

(注) yoy = 前年比 (%)

ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- ・ 輸出の堅調を背景に緩やかな景気回復が続いている。4～6月期の輸出は電子製品などを中心に前年同期比 16.4%増と堅調に拡大している。一方、輸入は内需低迷から大幅に鈍化しており、貿易赤字は縮小傾向にある。実際、原油高、金利引上げ、政治不安を背景に企業は設備投資を先送りしているようだ。こうした中で、中銀も今年の成長率見通しを 4.25～5.25%から 4～5%に引き下げている。
- ・ 一方、7月の消費者物価は石油燃料や交通費の上昇テンポが一服したことから前年同月比 4.4%と前月（5.9%）から一段と沈静化した。このため、04年後半から利上げが続いてきたが、7月に続き 9月6日の次回の中銀金融政策委員会でも政策金利（14日物レボ金利）は 5.0%で据え置きとなる可能性が高いと見られる。



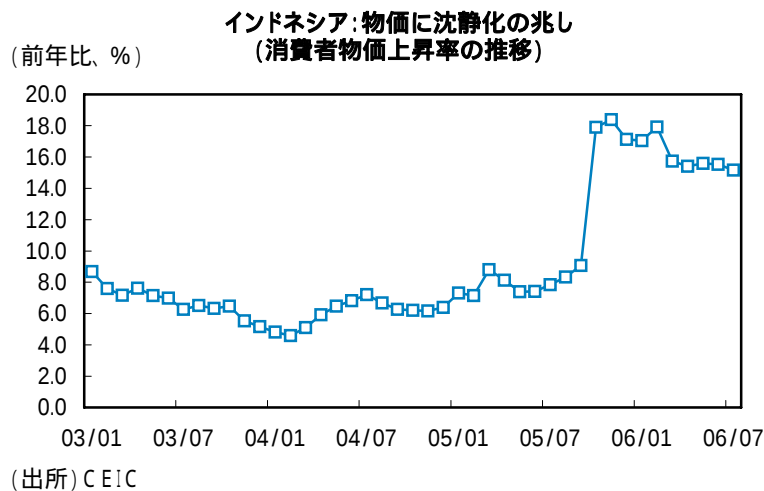
タイの主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/3Q	4Q	06/1Q	2Q	06/4月	06/5月	06/6月	06/7月
GDP (yoy)	実質 GDP	7.0	6.2	4.5	5.4	4.7	6.0					
	民間消費	6.4	5.9	4.4	4.5	4.1	4.1					
	総固定資本形成	12.1	13.8	11.4	8.4	8.1	6.6					
生産	製造業生産指数(yoy)	13.9	11.8	9.0	11.6	7.1	9.7	6.5	4.1	9.3	6.2	
消費	総合消費指数(yoy)	5.4	4.0	0.6	0.3	0.9	1.2	0.8	0.8	1.6	▲ 0.0	
投資	民間企業投資指数(yoy)	13.6	11.6	7.8	8.7	4.3	4.1	1.1	1.1	1.6	0.4	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	5.0	2.5	▲ 7.3	0.7	▲ 0.3	▲ 0.4	▲ 1.6	▲ 0.5	▲ 0.6	▲ 0.4	
	輸出(yoy)	17.4	20.6	14.9	22.1	11.5	17.3	16.4	11.7	18.8	18.2	
	輸入(yoy)	16.8	25.3	25.7	20.9	20.2	6.7	3.3	0.3	6.4	3.0	
国際収支	経常収支(10億ドル)	8.0	6.9	▲ 3.7	1.2	0.9	1.7	▲ 1.2	▲ 0.3	▲ 0.9	0.1	
	外貨準備高(10億ドル)	42.1	49.8	52.1	49.8	52.1	55.3	58.1	57.2	57.7	58.1	58.1
雇用	失業率(季調前)	2.2	2.1	1.9	1.4	1.5	1.9	1.7	2.1	1.4	1.5	
物価	消費者物価(総合,yoy)	1.8	2.8	4.5	5.6	6.0	5.7	6.0	6.0	6.2	5.9	4.4
	消費者物価(コア,yoy)	0.1	0.4	1.6	2.2	2.4	2.6	2.8	2.9	2.7	2.7	2.0
金融	M2-サプライ(M2,yoy)	4.9	5.4	8.2	6.6	8.2	11.8	11.4	12.9	12.7	11.4	
	商銀貸出残高(yoy)	3.6	6.7	8.1	4.1	8.1	7.8	8.6	7.9	7.8	8.6	
	不良債権比率(3M基準,%)	12.7	10.7	8.2	9.9	8.2	8.0	8.2				
	株価指数(SET)	772	668	714	723	714	733	678	768	709	678	691
	為替レート(バーツ/\$)	41.5	40.2	40.2	41.3	41.0	39.3	38.1	37.9	38.0	38.3	38.0
	為替レート(円/バーツ)	2.8	2.7	2.7	2.7	2.9	3.0	3.0	3.1	2.9	3.0	3.1
	インターバンク金利(3M)	1.56	1.62	3.28	3.53	4.37	4.82	5.32	5.25	5.30	5.40	5.40

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

2. インドネシア経済の概況

- ・ 昨年 10 月の燃料価格の大幅引き上げを契機とする高インフレと高金利を背景とした内需の低迷が依然として続いている。ただし、6 月の小売売上は前年同月比 8.9% 減と前年比マイナス幅は一桁台に縮小しており、最悪期は脱しつつあるようだ。また、6 月の輸出は電子機器、ゴム・ゴム製品、鉱物燃料などを中心に同 23.1% 増と前月（同 16.1% 増）を上回る高い伸びとなっている。
- ・ 一方、7 月の消費者物価上昇率は前年同月比 15.2% と前月（15.5%）からさらに低下。徐々に物価安定化の兆しが見えてきた。こうした中で、8 月 8 日、中銀は 5 月、7 月に続いて 3 度目となる政策金利（中銀短期証券 1 カ月物）の引下げ（0.50% pt；12.25% → 11.75%）を決めた。



インドネシアの主要経済指標

		2003年	2004年	2005年	05/3Q	4Q	06/1Q	2Q	06/4月	06/5月	06/6月	06/7月
GDP (yoy)	実質 GDP	4.8	5.1	5.6	5.6	4.9	4.6					
	民間消費支出	3.9	5.0	4.0	4.4	4.2	3.2					
	総固定資本形成	0.6	14.6	9.9	9.4	1.8	2.9					
生産	製造業生産(yoy)	5.5	3.3	1.3	▲ 0.1	▲ 4.5	▲ 3.4					
消費	小売売上(yoy)	7.0	7.3	16.0	10.6	0.8	▲ 21.1	▲ 14.9	▲ 24.3	▲ 10.4	▲ 8.9	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	28.5	25.1	28.0	6.6	9.1	9.1	9.0	2.9	3.3	2.8	
	輸出(yoy)	6.8	17.2	19.7	12.0	13.9	12.9	17.2	12.5	16.1	23.1	
	(除く石油ガス,yoy)	5.2	18.0	18.8	8.1	10.7	11.4	17.3	13.9	13.3	24.8	
	輸入(yoy)	4.0	42.9	24.0	22.8	6.3	▲ 1.9	4.2	▲ 6.5	2.2	17.6	
国際収支	経常収支(10億ドル)	n.a.	1.6	0.9	▲ 1.1	1.2	3.4					
	外貨準備高(10億ドル)	36.3	36.3	34.7	30.3	34.7	40.1	40.1	42.8	44.3	40.1	
物価	消費者物価(yoy)	6.8	6.1	10.5	8.4	17.8	16.9	15.5	15.4	15.6	15.5	15.2
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	8.1	8.1	16.4	16.6	16.4	17.1	16.8	14.7	18.3	16.8	
	株価指数(総合)	692	1,000	1,163	1,079	1,163	1,323	1,310	1,464	1,330	1,310	1,352
	為替レート(北アドル)	8,571	8,985	9,751	10,123	9,985	9,233	9,098	8,775	9,220	9,300	9,070
	為替レート(円/100北ア)	1.35	1.20	1.13	1.10	1.17	1.27	1.26	1.33	1.21	1.23	1.28
	中銀債金利(3ヵ月)	10.17	7.39	9.16	8.98	12.58	12.86	12.35	12.74	12.16	12.16	12.16

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、04年5月以降、国際収支の集計方法が一部変更され、それ以前とは不連続。

3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

【マレーシアの主要経済指標】

		2003年	2004年	2005年	05/3Q	4Q	06/1Q	2Q	06/4月	06/5月	06/6月	06/7月
GDP (yoy)	実質 GDP	5.5	7.2	5.2	5.3	5.2	5.3					
	民間消費	6.6	10.5	9.2	10.4	9.0	7.5					
	総固定資本形成	2.7	3.1	4.7	9.6	0.4	11.4					
生産	鉱工業生産(yoy)	9.3	11.3	4.1	4.6	5.5	5.8	6.0	4.4	6.7	7.0	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	21.4	21.2	26.4	6.2	7.6	6.9	6.4	1.8	2.2	2.4	
	輸出(yoy)	11.6	20.5	11.4	8.3	13.3	13.7	14.4	5.0	13.1	11.4	
	輸入(yoy)	4.8	25.9	8.9	9.4	8.1	16.0	16.2	11.4	11.8	11.4	
国際収支	経常収支(10億ドル)	13.3	14.9	20.0	18.5	16.9	19.8					
	外貨準備高(10億ドル)	45	67	70	80	70	74	79	76	79	79	
雇用	失業率(%)	3.6	3.6	3.6	3.8	3.8	3.8					
物価	消費者物価(yoy)	1.1	1.4	3.1	3.4	3.4	3.8	4.1	4.6	3.9	3.9	
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	11.1	25.4	15.4	24.2	15.4	15.2	11.2	16.1	14.8	11.2	
	貸出残高(yoy)	5.2	26.0	17.5	27.0	17.5	22.2	13.7	23.0	23.0	13.7	
	不良債権比率(3M基準,%)	8.9	7.5	5.8	6.1	5.8	5.7	5.5	5.7	5.6	5.5	
	株価指数(総合)	794	907	900	928	900	927	915	949	928	915	936
	為替レート(リギ/\$)	3.80	3.80	3.79	3.77	3.78	3.73	3.65	3.66	3.62	3.66	3.67
	為替レート(円/リギ)	30.5	28.5	29.1	29.5	31.0	31.4	31.4	32.0	30.9	31.3	31.6
	インターバンク金利(3M,%)	3.13	2.94	2.90	2.89	3.03	3.47	3.86	3.52	3.85	3.92	3.90

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、鉱工業生産は05年以降、2000年 = 100基準。消費者物価は06年以降、2005年 = 100基準。

【フィリピンの主要経済指標】

		2003年	2004年	2005年	05/3Q	4Q	06/1Q	2Q	06/4月	06/5月	06/6月	06/7月
GDP (yoy)	実質 GDP	4.9	6.2	5.0	4.8	5.3	5.5					
	民間消費支出	5.3	5.8	4.9	4.9	5.0	5.1					
	固定資本形成	3.8	1.3	▲ 3.9	▲ 0.0	▲ 4.6	▲ 3.4					
生産	鉱工業生産(yoy)	0.0	1.0	2.2	0.2	6.1	▲ 8.7		▲ 13.2	▲ 5.4		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	▲ 4.2	▲ 4.4	▲ 6.2	▲ 1.7	▲ 1.3	▲ 0.3		▲ 0.5	▲ 0.5		
	輸出(yoy)	2.9	9.5	4.0	5.0	3.5	14.0		20.5	17.3		
	輸入(yoy)	3.1	8.8	7.7	10.2	12.9	6.0		7.4	15.2		
国際収支	経常収支(10億ドル)	0.3	1.6	2.4	0.3	1.1	1.2					
	外貨準備高(10億ドル)	14.1	14.6	17.7	17.7	17.7	20.0	20.5	20.2	20.3	20.5	
物価	消費者物価(yoy)	3.5	6.0	7.7	7.1	6.9	7.3	6.9	7.1	6.9	6.7	6.4
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	3.3	9.4	9.0	14.3	9.0	7.2		8.5	11.4		
	株価指数(総合)	1,442	1,823	2,096	1,942	2,096	2,196	2,179	2,271	2,296	2,179	2,391
	為替レート(ペソ/ドル)	54.4	56.2	55.0	56.1	54.0	51.9	52.7	51.8	52.7	53.6	51.6
	為替レート(円/ペソ)	2.13	1.93	2.00	1.98	2.17	2.25	2.17	2.26	2.12	2.14	2.24
	TB(3ヵ月,%)	5.87	7.32	6.10	5.71	5.48	5.02	5.36	4.74	4.84	6.50	5.45

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

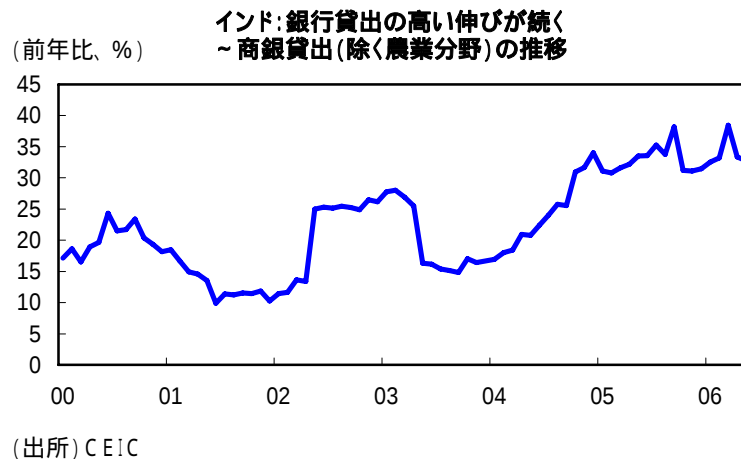
【シンガポールの主要経済指標】

		2003年	2004年	2005年	05/3Q	4Q	06/1Q	2Q	06/4月	06/5月	06/6月	06/7月
GDP (yoy)	実質 GDP	2.9	8.7	6.4	7.6	8.7	10.8	8.1				
	民間消費	0.9	5.9	2.5	1.2	4.0	1.8					
	総固定資本形成	▲ 3.2	10.2	▲ 1.9	▲ 6.8	15.0	10.2					
生産	鉱工業生産(yoy)	3.0	13.5	9.4	12.6	14.7	21.1	12.2	4.9	9.2	22.2	
消費	小売売上指数(yoy)	8.7	13.2	9.0	10.2	7.9	7.9		6.5	17.9		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	23.7	25.0	29.6	7.9	9.2	8.9	7.4	2.7	2.1	2.6	
	輸出(yoy)	27.8	24.2	15.6	14.5	18.5	23.0	22.4	12.5	17.7	21.6	
	輸入(yoy)	17.0	27.4	15.2	14.3	17.5	19.7	23.6	10.0	24.3	20.8	
国際収支	経常収支(10億ドル)	22.3	26.3	33.3	15.8	16.0	15.3					
	外貨準備高(10億ドル)	96	113	117	116	117	122	129	128	129	129	130
雇用	失業率(季調,%)	4.0	3.4	3.1	3.2	2.6	2.6	2.9				
物価	消費者物価(yoy)	0.5	1.7	0.5	0.5	1.1	1.4	1.2	1.1	1.1	1.4	
金融	マネーサプライ(M2,%)	8.1	6.2	6.2	8.3	6.2	8.1	11.1	9.4	12.1	11.1	
	株価指数(ストリート)	1,765	2,066	2,347	2,305	2,347	2,533	2,435	2,611	2,384	2,435	2,445
	為替レート(\$/\$)	1.742	1.690	1.665	1.676	1.688	1.628	1.590	1.601	1.577	1.591	1.583
	為替レート(円/\$)	66.5	64.0	66.2	66.4	69.5	71.8	72.0	73.1	70.8	72.1	73.1
	インターバンク金利(3M,%)	0.74	1.05	2.29	2.15	3.02	3.40	3.48	3.44	3.44	3.56	3.56

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)

4. インド経済の概況

- ・ 内外需の堅調を背景に景気の拡大が続いている。6月の輸出は前年同月比25.1%増と大幅に拡大。また7月の国内乗用車販売はメーカーの販促もあり同28.4%増と大幅に拡大した。こうした内外需の拡大を背景に生産も堅調な増加ペースが続いている。5月の鉱工業生産は前年同月比10.0%増と二桁台の伸びとなった。
- ・ 一方、原油価格の上昇に加えて、高成長による所得向上から食料品などの需給が逼迫し、物価の上昇テンポが速まっている。また、景気拡大を反映して貸出の伸びも高水準で推移している。こうした中でインド準備銀行(中銀)は7月25日、予防的措置として政策金利(リバースレポ金利)を0.25%ポイント引上げて6.0%とすることを決めた。



インドの主要経済指標

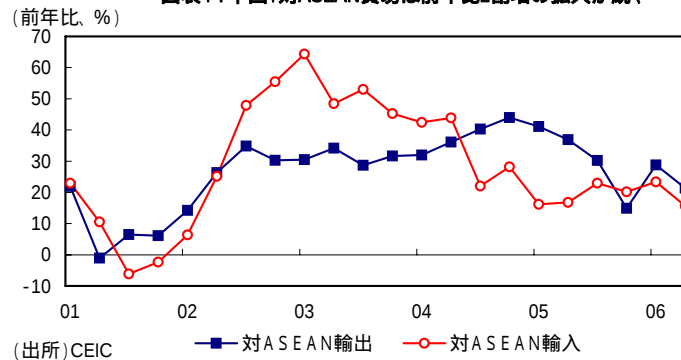
		2003年	2004年	2005年	05/3Q	4Q	06/1Q	2Q	06/4月	06/5月	06/6月	06/7月
GDP (yoy)	実質GDP	7.3	7.3	8.2	8.4	7.5	9.3					
	農業生産	5.2	2.8	2.9	4.0	2.9	5.5					
	実質GDP(年度)	8.5	7.5	8.4								
	農業生産(年度)	10.0	0.7	3.9								
生産	鉱工業生産(yoy)	6.6	8.5	7.9	6.5	7.1	8.5		9.6	10.0		
輸出入	貿易収支(10億ドル)	▲ 13.7	▲ 21.7	▲ 39.4	▲ 12.8	▲ 8.1	▲ 8.2	▲ 11.8	▲ 4.2	▲ 3.8	▲ 3.8	
	輸出(yoy)	16.7	31.5	27.3	28.3	26.7	21.3	16.9	9.4	15.8	25.1	
	輸入(yoy)	26.0	36.5	39.4	49.7	21.7	16.4	15.5	16.7	8.1	22.4	
国際収支	経常収支(10億ドル)	8.8	1.4	▲ 11.9	▲ 5.0	▲ 3.8	1.8					
	外貨準備高(10億ドル)	97.6	125.2	131.0	136.9	131.0	145.1	156.0	153.6	155.5	156.0	156.4
物価	卸売物価(yoy)	5.3	6.6	4.7	4.0	4.5	4.0	4.6	3.9	4.7	5.1	
	消費者物価(yoy)	3.7	3.9	4.0	3.6	4.7	5.0	6.4	5.3	6.1	7.9	
金融	マネーサプライ(M3,yoy)	13.0	12.8	17.9	18.1	17.9	21.2	18.1	18.8	18.3	18.1	19.5
	株価指数(BSE Sensitive)	5,839	6,603	9,398	8,634	9,398	11,280	10,609	12,043	10,399	10,609	10,744
	為替レート(ルピー/ドル)	46.5	45.2	44.1	43.8	45.4	44.4	45.8	45.0	46.4	46.1	46.5
	為替レート(円/ルピー)	2.49	2.39	2.50	2.54	2.58	2.63	2.50	2.60	2.4	2.5	2.5
	TB3ヶ月	4.92	4.70	5.43	5.39	5.81	6.49	5.83	5.41	5.74	6.36	6.44

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、年度は4月から翌年3月

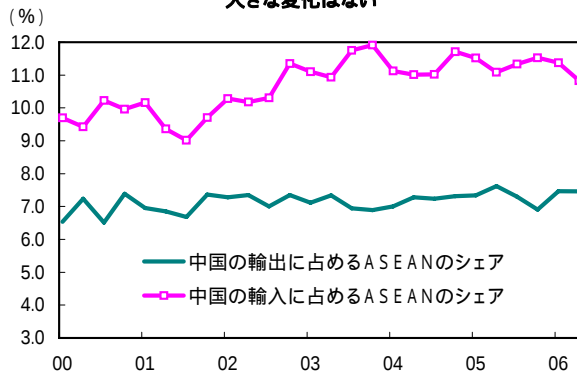
5. ASEAN経済の注目点～ASEAN・中国自由貿易協定開始から1年

- ・ 2005年7月20日に「ASEAN・中国自由貿易協定（ACFTA）」に基づく関税の段階的な引下げが開始されてから1年が経った¹。中国商務部は「昨年7月以降、中国・ASEAN間の貿易額が21.6%増加し、両者は経済貿易関係の緊密化により相互利益を実現した。」とその成果を評価している²。
- ・ しかし、中国とASEAN間の貿易は2002年以降、総じて前年比2割増を上回る伸びを続けており（図表1）、また中国の貿易量全体がそれ以上に大きく拡大しているため、中国の輸出入に占めるASEANのシェアはほぼ横ばいで推移している（図表2）。中国サイドから見れば必ずしもACFTAによって両者の経済関係が相対的に緊密化しているとは言えない。
- ・ ただし、ASEANサイドからみれば、輸出入に占める中国のウェイトが着実に高まっており（図表3）、ACFTAがこの傾向をさらに強めると見られる。中国の発展によりASEANにも新たな発展のモメンタムがもたらされているようだ。

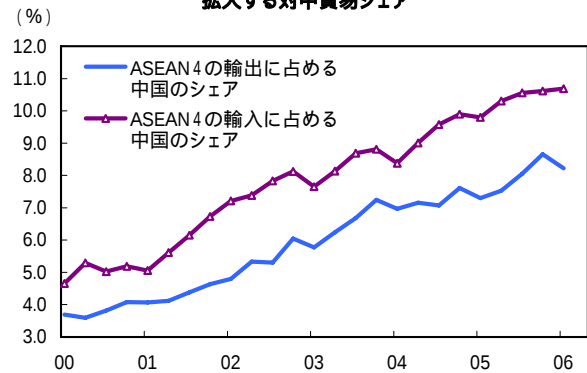
図表1. 中国：対ASEAN貿易は前年比2割増の拡大が続く



図表2. 中国：ACFTA開始後も対ASEAN貿易のシェアに大きな変化はない



図表3. ASEAN4: ACFTA開始を受け一段と拡大する対中貿易シェア



(注) ASEAN4は05年7月20日から関税引き下げを開始した6カ国(ブルネイ、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、シンガポール、タイ)のみ。なお、フィリピンは06年4月から関税引き下げを開始しているが、ベトナム、カンボジア、ラオスについてはまだ実施されていない(通商弘報 2006年7月21日参照)。
(出所) CEIC

¹ 05年7月20日に関税引き下げを開始したのはASEAN加盟10カ国のうちの6カ国(ブルネイ、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、シンガポール、タイ)のみ。なお、フィリピンは06年4月から関税引き下げを開始しているが、ベトナム、カンボジア、ラオスについてはまだ実施されていない(通商弘報 2006年7月21日参照)。

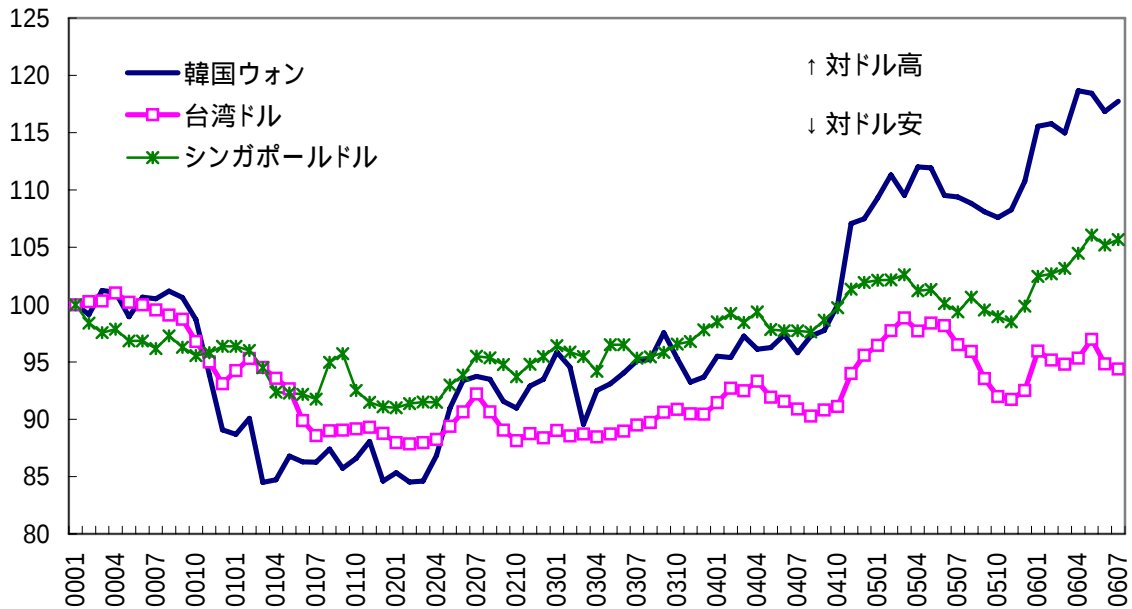
² 人民網日本語版 2006年7月21日。

・アジア通貨・株価動向

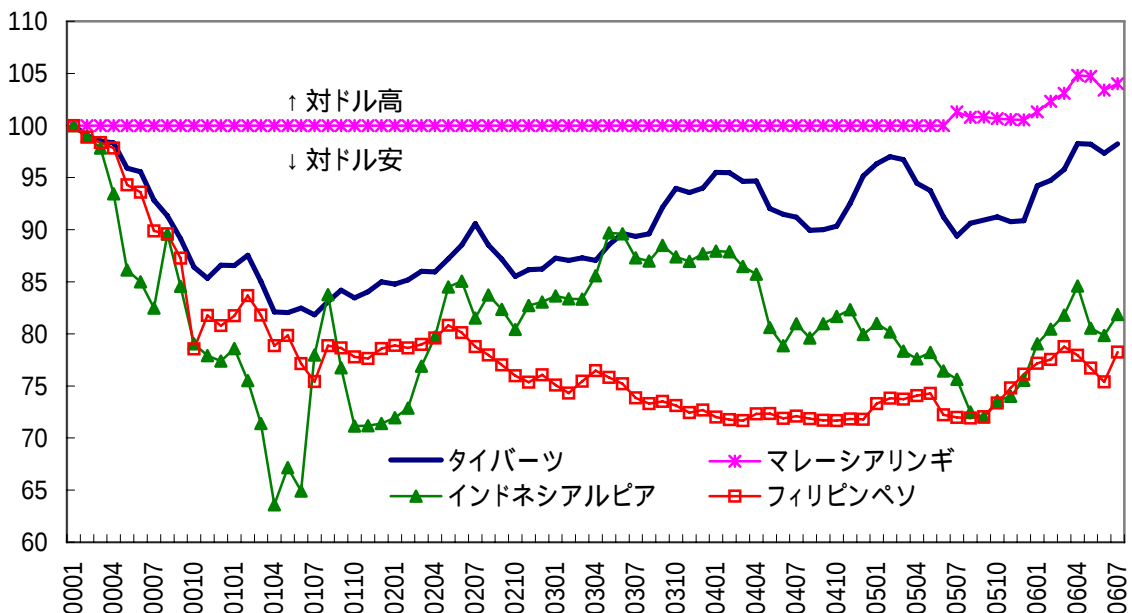
アジア通貨の対ドル相場の推移

< 2000年1月 = 100 >

(2000年1月 = 100)

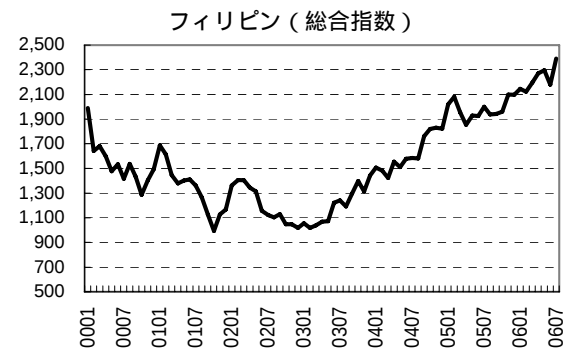
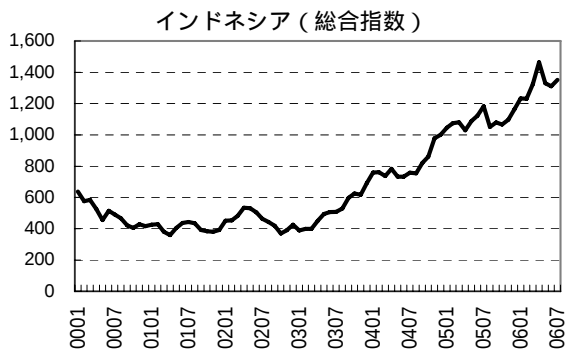
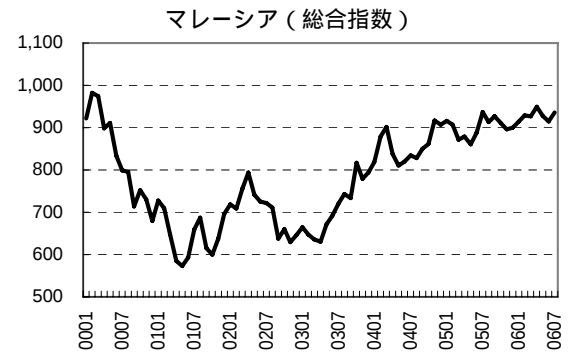
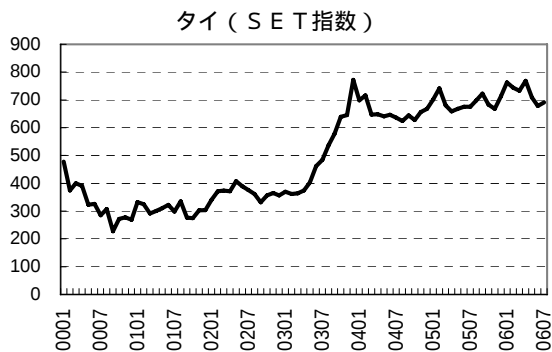
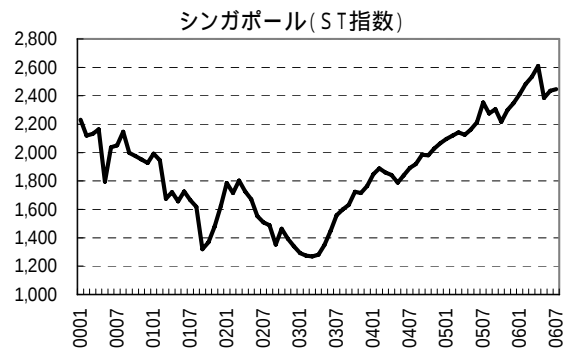
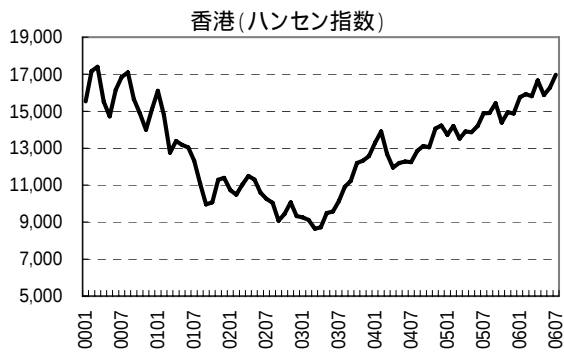
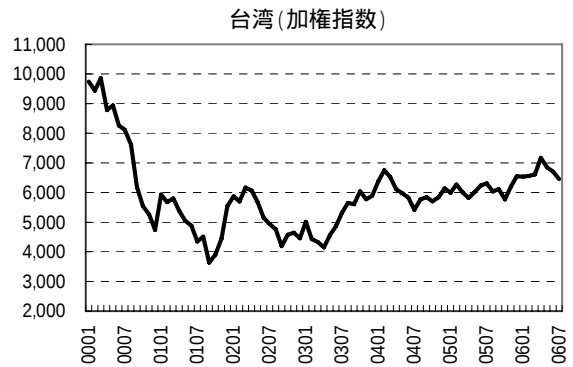
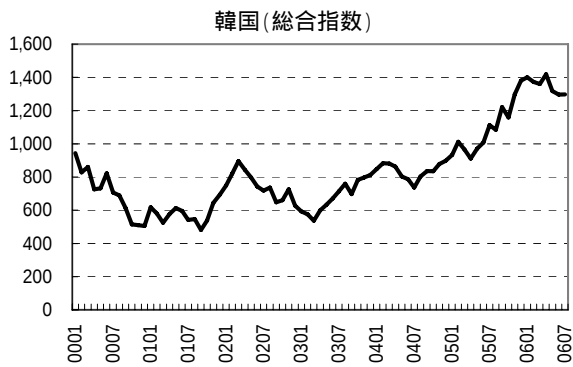


(2000年1月 = 100)



(出所) CEIC

アジア諸国の株価動向



(出所) CEIC

本レポートに掲載された意見・予測等は資料作成時点の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。